

令和6年度  
「教育委員会の点検・評価」  
報告書  
(令和5年度対象)



(スポーツ・レクリエーションの普及推進事業 湧く湧くしおやウォーキング大会 in 大宮)

令和6年9月  
塩谷町教育委員会

はじめに

平成 19 年 6 月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され（平成 20 年 4 月 1 日施行）、各市町村の教育委員会は、毎年、その教育行政事務の執行管理状況について自己点検及びその評価に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされています。

本町では、効率的、効果的な教育行政事務事業の執行体制の確立を図るため、「第 6 次塩谷町振興計画基本計画（前期基本計画）」の施策の大綱の一つである「将来を担う人の育成と活力ある地域コミュニティの形成」に基づき、令和 3 年度より令和 7 年度までの 5 箇年計画で各種教育施策を展開しています。

また、生涯学習の分野では、計画期間を平成 30 年度から令和 5 年度とした第 4 次塩谷町生涯学習推進計画（兼第 1 次塩谷町男女共同参画推進計画）」に基づき、生涯学習施策の推進に取り組んでいるところです。

本報告書は、令和 5 年度における教育委員会議の開催、審議状況、及び教育委員の活動状況、ならびに教育委員会部局の主要事業等について、有識者の方々の指導の下に実施した点検、評価結果を概括的にとりまとめたものです。

町教育委員会では、今後町教育行政のさらなる充実に向け、着実に取り組みを進めていきたいと考えておりますので、町民の皆様をはじめ、関係各位の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和 6 年 9 月

塩谷町教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律〔抜粋〕

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（前条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 目 次

I	塩谷町における「教育委員会の点検・評価」について	1
II	教育委員会議の開催及び教育委員の活動状況の点検及び評価	
1	教育委員会議の開催及び審議状況	3
2	教育委員会議以外の教育委員の活動状況一覧表	6
3	点検・評価	8
III	教育に関する事務事業の執行状況の点検及び評価	
1	学校教育課所管事業	9
①	塩谷町小・中学校放課後学習支援事業（ステップアップ学習塾）	11
②	ふるさと大好きシオヤっ子育成事業	12
③	塩谷中学校校内及び周辺整備	13
④	スクールバス運行业務（塩谷町地域公共交通計画事業）	14
⑤	給食センター運営事業	15
2	生涯学習課所管事業	16
①	まなびの講座開催事業	17
②	地域学校協働活動推進事業	18
③	図書環境の運営	19
④	生涯学習フェスティバル	20
⑤	スポーツ・レクリエーションの普及推進事業	21
IV	総合評価	22

# 1 塩谷町における「教育委員会の点検・評価」について

## 1 目的

教育委員会の運営及び教育委員会部局の事務事業が、塩谷町教育委員会の方針に沿って、有効かつ効率よく具体的な教育行政が執行されているかどうかについて、教育委員会自ら点検・評価を行うことにより、今後より一層の教育行政を推進するとともに、町民に対し教育行政の説明責任を果たしていくことを目的としています。

## 2 点検・評価の対象

教育委員会の運営状況及び教育行政を推進する上での上位計画である「第6次塩谷町振興計画（前期基本計画）」（計画期間令和3年度～令和7年度）、及び「第4次塩谷町生涯学習推進計画（兼第1次塩谷町男女共同参画推進計画）」（計画期間平成30年度～令和5年度）に基づき展開した施策のうち、令和5年度の重点事務事業を対象としました。

## 3 点検・評価結果の構成

### 1) 教育委員会の運営に関する点検評価

教育委員会議の開催状況、学校行事等への参加状況、関係機関行事等への参加状況、学校訪問の4項目について、点検・評価結果、及び評価者の意見、指摘事項等を記載しました。

### 2) 教育委員会部局の事務事業に関する点検評価

各事務事業とも、事業の目的、令和5年度の取組状況、事業取り組みの成果、事業実施における課題、今後の方向性の5項目について、点検・評価結果、及び評価者の意見、指摘事項等を記載しました。

## 4 点検及び評価に関する評価者の設置

町民（保護者）の意見を反映して点検及び評価の客観性を確保するほか、教育に関する有識者等の知見の活用を図るため、点検及び評価に関する評価者は以下のとおりとしました。

氏名	区分
斎藤 学	元公立中学校長
小嶋 妙子	元公立小学校養護教諭・元主任児童委員
渡辺 義隆	塩谷町PTA連絡協議会会長

## 5 議会への提出及び公表方法

令和6年9月議会開催時に全町議会議員に報告書を提出します。

また、報告書は塩谷町ホームページに掲載します。

## 6 塩谷町教育行政の基本方針

塩谷町教育委員会は、栃木県教育委員会の基本方針及び塩谷町振興計画に従い、例年、重点事業、努力点、具体策等を設定し、下記7項目の教育目標に基づき、積極的に教育施策の推進に努めています。

1. 教育推進体制の充実
2. 教育環境の充実
3. 生涯学習環境の充実
4. 芸術・文化活動の推進
5. スポーツ・レクリエーションの普及推進
6. 人間性豊かな人づくりの推進
7. 町民と協働した地域づくりの推進

## II 教育委員会議の開催及び教育委員の活動状況の点検及び評価

### 1 教育委員会議の開催及び審議状況

教育委員会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律ならびに、塩谷町教育委員会会議規則に基づき開催しており、教育委員と事務局職員間の情報共有、問題発生時等の早期対応を目的として、年間開催回数目標を 13 回としています。

令和 5 年度は、14 回の定例会議が開催され、事務の執行に関する事、教育委員会規則、要綱等の制定、改正に関する事、教職員の人事に関する事等、審議案件 29 件、報告案件 23 件が議題となりました。

会議開催時には、教育委員が参加した研修について報告を行う、また講師を招いた勉強会を開催する、資料により知見を深める等、塩谷町が抱えている課題の検討や情報の共有に努めました。

令和 5 年度における開催日ごとの審議案件の内容、検討案件の内容、報告案件の内容は P 4 から P 5 までの一覧のとおりです。

#### 令和 5 年度中の教育委員一覧

氏 名	在任期間	備考
手塚 一信	平成 25 年 6 月 29 日 ～ 令和 7 年 6 月 28 日	職務代理者
藤咲 麻紀子	平成 25 年 6 月 29 日 ～ 令和 6 年 9 月 30 日	
増淵 壽春	平成 29 年 6 月 29 日 ～ 令和 7 年 6 月 28 日	
戸村 光宏	平成 30 年 6 月 29 日 ～ 令和 8 年 6 月 28 日	
斎藤 智之	令和 2 年 10 月 1 日 ～ 令和 6 年 9 月 30 日	教育長

### 2 教育委員会議以外の教育委員の活動

教育委員は、教育委員会議の他に、学校訪問の実施、学校行事、関係機関への会議、行事等に参加しています。

令和 5 年度においては、4 校すべての学校を訪問することができ、授業風景の視察及び各校の現状確認、学力、体力向上の取り組み、学校施設の状況等を確認しました。

令和 5 年度における活動状況は、P 6 から P 7 までの一覧のとおりです

令和5年度 教育委員会審議案件等一覧表

1. 審議案件 29 件

開催回数	委員会開催日	件数	審 議 案 件 名	備考
1	令和5年第4回 令和5年4月5日	1～4	後援名義使用承認申請について	
			区域外就学許可申請について	
			区域外就学の協議について	
			臨時教育支援委員会結果の承認について	
2	令和5年第5回 令和5年4月20日	5	後援名義使用承認申請について	
3	令和5年第6回 令和5年5月19日	6～7	後援名義使用承認申請について	
			指定校変更許可申請について	
4	令和5年第7回 令和5年6月28日	8	後援名義使用承認申請について	
5	令和5年第8回 令和5年7月21日	9～15	令和6年度使用教科用図書の採択について ※小学校用と小中学校特別支援学級用	
			区域外就学許可申請について(4件)	
			塩谷町教育委員会職員の勤務時間等に関する規程の一部改正について	
			塩谷町通学安全推進会議設置要綱の一部改正について	
6	令和5年第9回 令和5年8月25日	16～17	後援名義使用承認申請について	
			塩谷町コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	
7	令和5年第10回 令和5年9月26日	18～20	後援名義使用承認申請について(2件)	
			区域外就学許可申請について	
8	令和5年第11回 令和5年10月13日	21～23	教職員人事異動事務の教育長一任について	
			後援名義使用承認申請について(2件)	
9	令和5年第12回 令和5年11月10日	24～25	区域外就学許可申請	
			後援名義使用承認申請について	
10	令和5年第13回 令和5年11月24日		(審議案件なし)	
11	令和5年第14回 令和5年12月22日		(審議案件なし)	
12	令和6年第1回 令和6年1月29日	26～27	後援名義使用承認申請について	
13	令和6年第2回 令和6年2月19日	27	後援名義使用承認申請について	
14	令和6年第3回 令和6年3月8日	28	後援名義使用承認申請について	
		29	教職員定期異動人事案件について	

2. 報告案件23件

件数	委員会開催日	協 議 案 件 名	備考
1	令和5年第4回 令和5年4月5日	令和5年度教育委員会重点事業について	
2		スクールバスの運行見直しについて	
3	令和5年第5回 令和5年4月20日	中学・高校生における少子化対策・子育て支援について	
4		学校規模・適正配置に関するアンケート調査の途中経過について	
5		学校規模・適正配置に関するアンケートの調査結果について	
6	令和5年第6回 令和5年5月19日	那須塩原市箒根学園(義務教育学校)視察について	
7		令和5年度就学援助支給該当児童生徒について	
8	令和5年第7回 令和5年6月28日	令和4年度実施教育委員会事業点検・評価について	
9		箒根学園視察のふりかえり	
10	令和5年第8回 令和5年7月21日	箒根学園視察後のアンケート結果について	
11		学校規模適正化の今後のスケジュールについて	
12		学校規模適正化のアンケートについて	
13	令和5年第9回 令和5年8月25日	令和5年度塩谷町教委員会点検・評価について	
14		学力調査結果について ※全国学力・学習状況調査、とちぎっ子学力調査、町学力調査	
15	令和5年第10回 令和5年9月26日	令和5年度塩谷町通学路安全推進会議について	
16		中学校部活動の地域移行について	
17	令和5年第11回 令和5年10月13日	人材育成事業(中学生海外派遣)の実施について	
	令和5年第12回 令和5年11月10日	(報告案件なし)	
18	令和5年第13回 令和5年11月24日	「はたちのつどい」について	
19		令和5年度教育支援委員会の結果について	
20	令和5年第14回 令和5年12月22日	生涯学習推進計画について	
21	令和6年第1回 令和6年1月29日	教育支援の経過報告について	
22		令和5年度塩谷町教職員協議会、塩谷町PTA連絡協議会からの要望に対する回答について	
23	令和6年第2回 令和6年2月19日	塩谷町立小中学校の在り方について	
	令和6年第3回 令和6年3月8日	(報告案件なし)	

令和5年度 教育委員会会議以外の活動状況一覧表

月	各種行事等	関係機関会議・総会・行事等	学校訪問等
4	教職員辞令交付式 塩谷中学校入学式 町立3小学校入学式	町内各地区コミュニティ推進協議会総会(書面) 町婦人会総会 町スポーツ協会定期評議員会 塩谷地区スポーツ協会総会(書面) 県市町村教育委員会連合会町教育長部会定例総会 塩谷南那須地区教育委員会連合会教育長会議 県市町教育委員会教育長会議	
5		町PTA連絡協議会総会(書面) 塩谷南那須地区教育委員会連合会総会 第1回地域学校協働活動推進事業本部協議会 町子ども会連合会定期総会(書面) 町文化協会定期総会 町女性団体連絡協議会総会 町スポーツ少年団定期総会(書面) 全国町村教育長会定期総会 スポーツフェスタ第1回実行委員会 塩谷地区スポーツ推進委員連絡協議会総会	
6		関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会(書面) 北関東町村教育長会定期総会 塩谷南那須地区教育委員会連合教育長会議 ウォーキングしおや推進委員会 町社会教育委員会兼生涯学習センター運営審議会 兼図書館協議会 町青少年育成町民会議総会	塩谷中学校(6月28日) ・学校概要確認 ・授業視察 ・施設、設備等の確認 ・学校長との教職員評価に関わる面談
7		塩谷町学校給食運営委員会 第77回国民体育大会塩谷町実行委員会第5回通常総会	
8		塩谷女川交流研修会 栃木県少年の主張塩谷地区大会	
9	塩谷中学校運動会	塩谷南那須地区教育委員会連合研修会 市町村教育長・教育委員研究協議会	大宮小学校(9月26日) ・学校概要確認 ・授業視察 ・施設、設備等の確認
10	3小学校運動会 文化振興事業	塩谷南那須地区教育委員会連合定例会 第1回町文化財保護審議会 栃木県市町村教育委員会連合会第2回定期総会	船生小学校(10月13日) ・学校概要確認 ・授業視察 ・施設、設備等の確認 ・学校長との教職員評価に関わる面談

令和5年度 教育委員会会議以外の活動状況一覧表

11		栃木県市町村教育委員会研究協議会 ----- 栃木県市町村教育委員会連合会研修会	
12	しおやの子どもを育てるフォーラム	町社会教育委員会兼生涯学習センター運営審議会 ----- 兼図書館協議会会議	玉生小学校(12月22日) ・学校概要確認 ・授業視察 ・施設、設備等の確認 ・学校長との教職員評価に関わる面談
1	塩谷町はたちのつどい	スポーツフェスタ第2回実行委員会	
2	塩谷中学校立志式 生涯学習推進大会	県市町村教育委員会連合会町潮位区長部会研修会 -----	
3	塩谷中学校卒業式 町立3小学校卒業式	塩谷南那須地区教育委員会連合会定例会 ----- 町社会教育委員会兼生涯学習センター運営審議会 ----- 兼図書館協議会会議(資料送付) ----- 総合教育会議 ----- 第2回地域学校協働活動推進事業本部協議会	

令和6年度教育委員会運営に関する点検・評価シート(令和5年度対象)

評価項目	自己評価	意見・感想
教育委員会議の開催状況について	B	年間開催目標13回以上のところ14回の開催となった。内容も今後の小中学校の在り方についての話し合い等や、中身の濃い会議を開催することができた。
	点検・評価結果	点検・評価者意見、指摘事項等
	B	教育委員会の開催状況につきましては、開催回数は十分であり、慎重な審議がなされていることが伺われ、充実した活動が行えていると評価できる。今後は各小中学校の学習習熟度等を分析し、教育方針会議に繋げてほしい。 また、会議内容の報告が抽象的だったので、具体的な内容の報告をしてはどうか。
学校行事等への参加状況について	自己評価	意見・感想
	B	学校の方から要望があった行事等には参加できた。
	点検・評価結果	点検・評価者意見、指摘事項等
関係機関行事等への参加状況について	自己評価	意見・感想
	B	主たる関係機関の行事に概ね参加できた。
	点検・評価結果	点検・評価者意見、指摘事項等
学校訪問について	自己評価	意見・感想
	B	町内全校訪問することができ、各学校の現状を知るとともに会議についても有益なものとなった。
	点検・評価結果	点検・評価者意見、指摘事項等
学校訪問について	自己評価	意見・感想
	B	訪問の際に、学校運営改善の助言があったことは評価できる。こちらも評価するにあたり、もっと具体的な内容の報告がほしい。
	点検・評価結果	点検・評価者意見、指摘事項等

【点検・評価】

点検・評価結果		
A	計画以上に目標を達成した。	十分に成果を得ることが出来た。
B	計画どおりに目標を達成した。	予定した成果を得ることが出来た。
C	目標達成にはやや至らなかった。	予定した取組成果を得ることが出来なかった。
D	目標達成には至らなかった。	期待した取組成果を得ることが出来なかった。

### Ⅲ 教育に関する事務事業の執行状況の点検及び評価

#### 1 学校教育課

学校教育課では、「第6次塩谷町振興計画基本計画（前期基本計画）」の施策1「将来を担う人の育成と活力あるコミュニティの形成」の施策として掲げられている「教育推進体制の充実」、「教育環境の充実」等に示された学校教育課所管の主な取り組み等に関して、令和5年度における重点事業、主要事業の点検・評価を行い、その結果を取りまとめました。

	主な取組	各種課題
教育推進体制の充実	Ⅰ 生きる力を育む教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティア活動等による社会奉仕活動、各種自然活動プログラムの開発、活用による学校教育の充実</li> <li>・ 家庭、学校、地域の連携による子どもの主体的に学び合う力の向上</li> <li>・ 一人ひとりの「個」に応じた支援</li> <li>・ 情報モラルに関する取組の支援</li> <li>・ 小中学校の適正配置や施設確保の在り方の検討</li> </ul>
	Ⅱ 教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校における研修への参加、校内研修の実施支援</li> <li>・ 教育の情報化の推進による教職員の業務効率化の支援</li> <li>・ 指導主事に対する研修会、研究発表会等への参加の促進</li> </ul>
教育環境の充実	Ⅰ 学校施設の維持改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内小中学校長寿命化計画に基づく、安全性、利便性の高い施設整備の維持</li> <li>・ 情報系機器の充実により ICT を活用した学習環境の確保</li> <li>・ 安心安全な給食の提供のための給食センターの維持管理</li> </ul>
	Ⅱ 学校運営体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育委員会と学校間の連携・協力の推進</li> <li>・ 情報ネットワーク活用による学校事務の効率化</li> <li>・ 特別な配慮が必要な児童生徒の増加に対応するための会計年度任用職員（教育職員）の適正配置</li> </ul>
	Ⅰ 公共交通網の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小中学校スクールバスの効率的な運用</li> </ul>

令和5年度における学校教育課所管の重点事業、主要事業は下記5事業であり、事業ごとの点検・評価内容はP11からP15までのとおりです。

スクールバス運行業務は、塩谷町地域公共交通計画事業に基づく業務ですが、学校教育課が主として担っている業務のため、点検・評価の対象としています。点検・評価内容はP14です。

- ①塩谷町小・中学校放課後学習支援事業（ステップアップ学習塾）
- ②ふるさと大好きシオヤっ子育成事業
- ③塩谷中学校校内及び、周辺整備
- ④スクールバス運行業務（塩谷町地域公共交通計画事業）
- ⑤給食センター運営事業

## 令和6年度教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事務事業対象)

事務事業名	塩谷町小・中学校放課後学習支援事業（ステップアップ学習塾）					
総合計画	政策名	将来を担う人の育成と活力あるコミュニティの形成	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当
	施策名	教育推進体制の充実	事業費	442千円		
事業期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日					
関係法令・条例等						
事業の目的	小学校2年生から中学3年生を対象に週1回程度(年間約20回程度)放課後の学校で学習支援に取り組む。町採用会計年度任用職員が指導することで、児童・生徒の実態に応じ、学力の向上を目指していく。					
令和5年度の取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生では、国語・算数を中心に基礎的基本的な学習の定着や、学習習慣を身につけさせた。</li> <li>・学習の内容は、国語・算数を中心に、理科・社会なども希望に応じて実施した。</li> <li>・水曜日に実施。1回の開講時間は、約90分間</li> <li>・実施回数・・・船生小24回、玉生小23回、大宮小22回、塩谷中23回</li> <li>・参加人数・・・船生小24(+4)名、玉生小21(+4)名、大宮小13(+2)名、塩谷中16(+2)名計74(+12)名 ※( )内数字は、前年比</li> <li>◎人件費 1,600円×3名×92回 = 441,600円</li> </ul>					
事業取り組みの成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習習慣の定着が図られた。授業中でわからないところがあった児童への補助的な指導ができた。</li> <li>・中学校では、入試に向けて頑張る生徒が増え、わからないところを積極的に教師に聞いて理解しようとする生徒が増えた。ほとんどの生徒が、希望校を受検し合格できた。</li> <li>・児童生徒から年度末に調査したアンケートの結果から、「学習への意欲が高まった。」「家の人や周りの人からほめられることがふえた」「学習ができるようになった」に肯定的な回答する児童生徒が多数いた。</li> </ul>					
事業実施における課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの場を提供するとてもいい機会となっているので、各種学力調査に向けた取組を今後少しづつ取り入れていきたい。</li> <li>・2週間に1回程度なので、回数を増やして実施していきたい。</li> </ul>					
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みなどの長期休業中も実施していきたい。</li> <li>・基礎的・基本的な問題以外にも、さまざまな問題を解かせることで学習の定着を図りたい。</li> </ul>					

### 【評価】

A	計画以上に目標を達成した。	十分に成果を得ることが出来た。
B	計画どおりに目標を達成した。	予定した成果を得ることが出来た。
C	目標達成にはやや至らなかった。	予定した取組成果を得ることが出来なかった。
D	目標達成には至らなかった。	期待した取組成果を得ることが出来なかった。

### 【自己評価】

【 B 】

意見・感想等
<p>本町児童生徒の課題に「自己肯定感の低さ」があるが、アンケートにおいて、ほとんどの児童・生徒が、「以前より先生・家の人に、ほめられるようになった」と回答していることは、とてもよかった。児童生徒の数が極端に減少している中、参加者が増加している傾向は、児童・生徒や保護者からかなりの支持を受けていると感じた。低所得の家庭には、学習塾の少ない本町の地域性を考えると地域のニーズに応じた取組であると考えられる。今後は、学力調査等の結果とも結びつけられるよう工夫していきたい。</p>

### 【評価者評価】

【 A 】

評価者意見・指摘事項等
<p>今までになかった補修学習の実現できており、十分な実施回数(20回)や、学習の意欲や定着も評価できる。また、学力が向上したかどうかではなく、効果的と思われる具体策を検討実施したかが重要と考える。AIやアプリを活用した個別最適化学習の充実が望まれる。</p>

令和6年度教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事務事業対象)

事務事業名	ふるさと大好きシオヤっ子育成事業					
総合計画	政策名	将来を担う人の育成と活力あるコミュニティの形成	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当
	施策名	教育推進体制の充実	事業費	248千円		
事業期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日					
関係法令・条例等						
事業の目的	令和3年度に作成した、本町の特色を取り入れたこの体験活動プログラムを町内児童に体験してもらい、郷土愛、キャリア発達を支援し、将来の塩谷町を支える人材育成を図る。					
令和5年度の取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たのしいあきいっぱい(生活科) 船生小、玉生小1年生</li> <li>・こうえんへ行こう(生活科) 玉生小2年生</li> <li>・町のようすを調べよう(生活科) 玉生小3年生、</li> <li>・塩谷町のはかせになろう(生活科)、施設見学(総合) 大宮小 3年生</li> <li>・地震、風水害などの自然災害に備えて(社会科) 玉生小4年生</li> <li>・冬の生き物さがし(理科) 大宮小 4年生</li> <li>・環境について考えよう(総合) 玉生小5年生</li> <li>・大地のつくりを変えよう(総合) 玉生小、大宮小6年生</li> </ul> ◎船生小学校29,900円 ◎玉生小学校157,660円 ◎大宮小学校60,350円 計247,910円					
事業取り組みの成果	学習指導要領に沿った体験活動が出来たと好評だった。					
事業実施における課題	「各学校10万円まで、超える場合は相談」と連絡しているが、3校中2校は限度額まで実施しておらず、学校によって差がある。					
今後の方向性	「違うプログラムも実施できないか」と学校側からも相談があり、今後は委託先と相談しながら学校の要望にそった事業を実施していきたい。					

【評価】

A	計画以上に目標を達成した。	十分に成果を得ることが出来た。
B	計画どおりに目標を達成した。	予定した成果を得ることが出来た。
C	目標達成にはやや至らなかった。	予定した取組成果を得ることが出来なかった。
D	目標達成には至らなかった。	期待した取組成果を得ることが出来なかった。

【自己評価】

【 C 】

意見・感想等
1校は当初予算以上の活動ができたが、他2校はあまり活動ができなかった。場所(星ふる学校くまの木)的な問題もあるのかもしれないが、出前講座が可能なものもあり、新プログラムも検討してくれるとのことなので、今後は周知も含め、積極的な活用を促したい。

【評価者評価】

【 C 】

評価者意見・指摘事項等
体験的な活動は、その意義を重視して今後も続けてほしいが、実施できなかった学校もあることや、費用に格差があることについては、今後事業の更なる充実に向けて検討してほしい。また、中学校でもキャリア教育(職業人に聞く等)で活用してみてもよいのではないかと。

令和6年度教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事務事業対象)

事務事業名	塩谷中学校校内及び、周辺整備					
総合計画	政策名	豊かな人を育むまちづくり	担当課	学校教育課	担当	庶務管理担当
	施策名	教育環境の充実	事業費	5,324 千円		
事業期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日					
関係法令・条例等						
事業の目的	塩谷中学校の教育環境を維持する。					
令和5年度の取り組み状況	<p>整備内容</p> <p>(1) 消防設備点検是正事項改修工事 895千円</p> <p>(2) 塩谷中学校暗渠排水工事 583千円</p> <p>(3) 塩谷中学校里山林整備 2,995千円</p> <p>※ 森林環境譲与税交付金を充てて実施しました</p> <p>(4) その他(9件) 850千円</p>					
事業取り組みの成果	特に塩谷中学校里山林整備については、開校以来初めて大規模な整備を行い、教職員等から好評を得た。					
事業実施における課題	開校して20年が経過し、年々老朽化と共に修繕箇所が増加している。					
今後の方向性	塩谷中学校里山林については引き続き維持管理していくが、ただ維持していくだけではなく、今後は教育に活用していく方法を考える。					

【評価】

A	計画以上に目標を達成した。	十分に成果を得ることが出来た。
B	計画どおりに目標を達成した。	予定した成果を得ることが出来た。
C	目標達成にはやや至らなかった。	予定した取組成果を得ることが出来なかった。
D	目標達成には至らなかった。	期待した取組成果を得ることが出来なかった。

【自己評価】

【 B 】

意見・感想等
令和5年度は大小合わせて12件の修繕を遂行することが出来た。次年度も引き続き学校からの要望に対し、年間スケジュールと体制を整えて施設環境保守業務を遂行していきたい。

【評価者評価】

【 B 】

評価者意見・指摘事項等
塩谷中学校里山林については、是非教育に活用してほしいが、小中学校の今後の在り方を考えて計画的に整備してほしい。また、今後もさらにICTの整備にも力を入れてほしい。

令和6年度教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事務事業対象)

事務事業名	スクールバス運行業務(塩谷町地域公共交通計画事業)				
総合計画	政策名	豊かな自然の保全と快適な生活環境の整備	担当課	学校教育課	担当 庶務管理担当
	施策名	便利な交通網の整備	事業費	116,636	千円
事業期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日				
関係法令・条例等	塩谷町立塩谷中学校スクールバス運行に関する条例				
事業の目的	令和4年度から5年間に於いて、現状の公共交通サービスを持続的に提供できる環境を整える。うち、スクールバス分野では、小中学生が家族の送迎等がなくとも通学ができ、子育て世代が暮らしやすい町を目指す。				
令和5年度の取り組み状況	<p>利用条件：小学生は通学距離が2km以上となる行政区に在住する児童が利用できる。中学生は通学距離が6km以上となる生徒が利用できる。ただし、3～6km以内の生徒は座席に空きがあれば利用。</p> <p>利用料：中学生は1年間で1万円、小学生は無料</p> <p>契約期間：令和3年4月1日から令和8年3月31日(5年間)</p> <p>委託金額：小学校(3校) 77,300千円、中学校 35,376千円 年間総額 112,676千円(5年総額563,380千円) ※ただし、地方交付税措置により、町の実質負担は4割程度である。</p>				
事業取り組みの成果	<p>スクールバス台数及び利用者数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・船生小学校・・・3台、72人(69%)</li> <li>・玉生小学校・・・5台、56人(47%)</li> <li>・大宮小学校・・・3台、73人(63%)</li> <li>・塩谷中学校・・・5台、133人(58%)</li> </ul> <p>※船生方面2路線48名、玉生方面1路線22名、大宮方面2路線63名朝1便、夕2便で運行している。</p>				
事業実施における課題	毎年度、スクールバスの利用者状況をもとに運行通路の見直しを行っているが、利用者が点在していること、また、小中学校で路線の重複かつバスの座席に余裕があっても、様々な事情により混乗が難しいために、バスの借り上げ台数を減らす事ができず、それに伴い高額な委託料が発生している。				
今後の方向性	学校規模適正化による町内の学校がひとつになることによって、小・中学生の混乗を視野に入れた効率化が可能となるので、新しいルートの検討を進めていく。				

【評価】

A	計画以上に目標を達成した。	十分に成果を得ることが出来た。
B	計画どおりに目標を達成した。	予定した成果を得ることが出来た。
C	目標達成にはやや至らなかった。	予定した取組成果を得ることが出来なかった。
D	目標達成には至らなかった。	期待した取組成果を得ることが出来なかった。

【自己評価】

【 B 】

意見・感想等
令和5年度においてもスクールバス運行通路の見直しを行い、必要最小限のバス台数で運行することが出来た。また、利用条件を満たすスクールバス利用希望者は全員利用可とすることができた。

【評価者評価】

【 A 】

評価者意見・指摘事項等
児童、生徒の乗車、下車の時間がほぼ定刻で運転手さんのマナーも良い。ただ、高額な費用がかかっているため、安全の確保には十分配慮しながらも、財政バランスを考慮して事業を執行すべきでは。祖父、祖母の送迎や、バスのサイズ等で費用の削減を検討してみてもどうか。

令和6年度教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事務事業対象)

事務事業名	給食センター運営事業					
総合計画	政策名	将来を担う人の育成と活力あるコミュニティの形成	担当課	学校教育課	担当	給食センター
	施策名	教育環境の充実	事業費	132,429 千円		
事業期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日					
関係法令・条例等	学校給食法、塩谷町立学校給食センター設置条例					
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食センター式共同調理により、町内3小学校、1中学校に安全安心かつ質の高い給食を提供する。</li> <li>町内で生産された食材を積極的に使用して、地産地消の推進を図る。</li> <li>塩谷町第2次自律計画に基づき、経費削減のほか、安全管理、危機管理体制更なる構築を目的に、平成26年度から調理業務、配送業務を民間委託している。(委託業者:R5～メフオス(株))</li> <li>近年急増している、児童生徒の食物アレルギー対策について、学校・保護者・関係機関との連携を強化し事故防止に努める。</li> </ul>					
令和5年度の取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内3小学校、1中学校への給食の提供(年間199日 129,350食 日平均食数650食)</li> <li>令和5年度 給食費収入は38,286千円</li> <li>令和5～7年度の給食業務委託契約(年間38,951千円×3年)に基づいた事業実施。</li> <li>空調機器更新工事、11台の空調機器の更新を行った。</li> <li>随時、老朽化した機器類を修繕。(スチームコンベクションオープン漏水、ざる受け・移動台・食管ラック・キャスター、真空冷却機テープスイッチ、回転窯蒸気配管等。)</li> <li>新しい調理器具(球根皮剥機、防水デジタル秤、L型運搬車等)の購入。</li> <li>有機米の導入(4月～10月は月1回提供、11月からは全量有機米で提供。町のオーガニックヴィレッジ宣言、地産地消食育の取り組みによる学校給食の主食米の有機化推進。)</li> </ul>					
事業取り組みの成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>食材調達、調理、配送とも不備は無く、老朽化で故障等が発生したが機器の修理や点検により、給食を停止することなく提供できた。</li> <li>調理および配送業務を委託している業者が交替したが、学校給食衛生管理基準に基づき、安全管理、危機管理体制の更なる充実を図り、引き続き安心安全な給食提供をできた。</li> </ul>					
事業実施における課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設及び調理設備の老朽化に伴い修繕費等の支出が増加傾向にあり、耐用年数を大幅にオーバーしている機器自体の更新が必要となってきた。今年度も何機か故障し、その都度、修繕で対応しているが、修繕の部品確保も非常に困難となってきた。</li> <li>食材費の高騰により、給食費の改定も今後は検討課題としていく時期にある。</li> </ul>					
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度は、食缶洗浄機更新工事を実施予定。</li> <li>高額となる老朽化した厨房機器類(真空冷却機等)の更新は令和7年度以降要検討。</li> <li>調理設備等のメンテナンスを実施し重点的な対応箇所を把握、計画的に修繕もしくは更新を行い、故障等による混乱を未然に防止する。</li> </ul>					

【評価】

A	計画以上に目標を達成した。	十分に成果を得ることが出来た。
B	計画どおりに目標を達成した。	予定した成果を得ることが出来た。
C	目標達成にはやや至らなかった。	予定した成果を得ることが出来なかった。
D	目標達成には遠く至らなかった。	期待した成果を得ることが出来なかった。

【自己評価】

【 B 】

意見・感想等
<ul style="list-style-type: none"> <li>委託業者の変更があったので、スムーズな運営体制を構築していくのに時間を要した。物価高騰が続くが栄養教諭との連携により栄養面や質を維持し予定どおり提供することができ、生きた教材としての給食を活用した食に関する指導が一体的に行えた。センターや学校側の配膳等の衛生管理も徹底し問題がなかった。</li> <li>機械類の故障や不具合はR5年度も相次いたが、専門業者と連携して迅速な対応をし給食の停止や時間に遅滞することなく提供することができた。</li> </ul>

【評価者評価】

【 B 】

評価者意見、指摘事項等
給食提供の問題はなかった。また、給食が昔と比べて美味しくなっているとよく聞く。ただ設備の耐用年数が過ぎていることは好ましくなく、早急に整備等を検討してほしい。

## 2 生涯学習課

生涯学習課では町民憲章に掲げる「自然美と活力に満ちあふれた塩谷町」を築き上げることを目標に策定した「第4次塩谷町生涯学習推進計画（兼第1次塩谷町男女共同参画推進計画）」の基本理念に基づき、『学びによる「人づくり」』『地域づくり』『絆づくり』『自分づくり』をキーワードに取り組んだ令和5年度における重点事業、主要事業の点検・評価を行い、その結果を取りまとめました。

生涯学習スポーツ振興	課 題	施 策
	I 学びによる魅力の発見 ～学習情報・機会の充実～	・学習情報の収集、提供、相談の充実 ・学習機会の充実
	II 地域が輝く魅力の育成 ～町民・地域・行政の協働～	・協働事業等の充実 ・民間団体等による活動の促進
	III 魅力ある資源の発信 ～人・地域資源の活用～	・人材、学習等施設の活用 ・文化財等の活用
	IV 一人ひとりの魅力ある自分づくり ～男女共同参画推進～	・一人ひとりの参画を進める環境づくり ・各分野での男女共同参画の推進 ・一人ひとりの人権の尊重と暴力の根絶

令和5年度における生涯学習課所管の重点事業、主要事業は下記5事業であり、事業ごとの点検・評価内容はP17からP21までのとおりです。

- ① まなびの講座開催事業
- ② 地域学校協働活動推進事業
- ③ 図書館の運営
- ④ 生涯学習フェスティバル
- ⑤ スポーツ・レクリエーションの普及推進事業

令和6年度教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事務事業対象)

事務事業名	まなびの講座開催事業					
総合計画	政策名	将来を担う人の育成と活力あるコミュニティの形成	担当課	生涯学習課	担当	生涯学習担当
	施策名	生涯学習環境の充実	事業費	138千円		
事業期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日					
関係法令・条例等	社会教育法					
事業の目的	学ぶことは町民一人ひとりの豊かな生き方を支えることになる。個々の学習の成果や経験を地域や社会に還元し、まちづくりにつなげていくことを目指し、地域のコミュニティ活動などの町民主体の活動の支援を図るための学習機会や学習情報の提供を行う。					
令和5年度の取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度は6月から開講となった。</li> <li>・まなびの講座は、8講座41回の講座を開講し、延べ人数で241人の参加者があった。</li> <li>・その他、小中学生が対象の夏休みを利用した「しおやサマースクール」は6回実施。</li> <li>・土日開催の講座も少しずつ開催を行った。また、小中学生の参加した吹奏楽の音楽講座を開講したところ、受講者がサークル活動につながる成果を得られた。高齢者学級は未実施。</li> </ul>					
事業取り組みの成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催した講座は、まなびの講座(8講座241名)、サマースクール(6講座69名)で、総参加者数310人(前年222人)となった。土日開催の講座を増やしたことなどにより参加者が増えたと考えられる。</li> </ul>					
事業実施における課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年の課題として挙げられていた土日の講座も少しずつ増やしているが、それでも参加者は思ったようには増えていない。310人以外の方々にいかに学びに興味を持たせられるかは、ニーズの把握及びメニューの調整など更に検討の必要があると考えられる。</li> </ul>					
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、シニア世代のみではなく、幅広い年齢層より学習のニーズについて情報収集に努めながら、満足度の高い講座を開講したい。</li> <li>・男性の参加率が低いことから、興味を引くような活動について考慮しながら事業を展開したい。</li> </ul>					

【評価】

A	計画以上に目標を達成した。	十分に成果を得ることが出来た。
B	計画どおりに目標を達成した。	予定した成果を得ることが出来た。
C	目標達成にはやや至らなかった。	予定した取組成果を得ることが出来なかった。
D	目標達成には至らなかった。	期待した取組成果を得ることが出来なかった。

【自己評価】

【 B 】

意見・感想等
令和5年度は生涯学習推進計画の策定や生涯学習課の新庁舎への移転、社会教育関東ブロック大会など何年に1回というイベントが重なり、講座等の開催も制約を受けていた。それでも土日開催を増やすなどした結果参加者数は増加しており、一定の成果を上げられたと判断する。

【評価者評価】

【 A 】

評価者意見・指摘事項等
限られた人員、予算で昨年よりも参加者数が増えていることはよくやっていると感じる。今後も継続、充実を図ってほしい。

## 令和6年度教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事務事業対象)

事務事業名	地域学校協働活動推進事業					
総合計画	政策名	将来を担う人の育成と活力あるコミュニティの形成	担当課	生涯学習課	担当	生涯学習担当
	施策名	生涯学習環境の充実	事業費	96千円		
事業期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日					
関係法令・条例等	社会教育法、塩谷町地域学校協働活動推進事業実施要綱、塩谷町地域学校協働活動推進員設置要綱					
事業の目的	地域の高齢者、保護者、PTA、民間企業、各種団体など、幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して様々な活動を行っていく。					
令和5年度の取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塩谷町地域学校協働活動推進本部協議会の開催(2回)</li> <li>・各小学校区での支部協議会及び地域連携研修、コーディネーターとの打合せの開催(各校1回以上)</li> <li>・各学校区における協働活動の実施(各校実施)</li> <li>・放課後子ども教室の実施(玉生小2回)</li> <li>・地域学校協働活動推進員(小学校コーディネーター)によるコーディネート事業の実施</li> <li>・CSマイスターによる学校運営協議会立ち上げに係る事前研修(事務局内)</li> </ul>					
事業取り組みの成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会及び研修会等の開催により、学校が抱える悩みを地域と共有し、両者が連携する活動につながった。また、学校とコーディネーターとの打合せの機会が増え、関係性が深まった。</li> <li>・各学校における学校支援ボランティアの活用が増えている。</li> <li>・子ども教室において地域の特産物を扱うことで、児童の地域への愛着を高める一助となった。</li> <li>・CSマイスターによる研修を行い、学校運営協議会立ち上げに向けて、今後の町の方向性を考える機会となった。</li> </ul>					
事業実施における課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支部協議会を継続的・自発的な取り組みにするためには、事務局の継続した支援が必要。また、小学校コーディネーターと学校との関係作りについても同様。</li> <li>・住民の意識に地域差があるため、地域の実態に合わせた協働活動の進め方や学校との関係作りを行っていく必要がある。</li> <li>・教職員と若い保護者世代への理解の啓発が必要。機会を捉えて引き続き啓発していく。</li> </ul>					
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中連携または町全体で連携した地域学校協働本部及び学校運営協議会の検討</li> <li>・町地域連携研修会とコーディネーター研修会、学校支援ボランティア交流会の実施</li> <li>・小学校コーディネーターによるコーディネーター事業の活性化</li> <li>・学校教育課の事業と連携した放課後子ども教室の開催</li> </ul>					

### 【評価】

A	計画以上に目標を達成した。	十分に成果を得ることが出来た。
B	計画どおりに目標を達成した。	予定した成果を得ることが出来た。
C	目標達成にはやや至らなかった。	予定した取組成果を得ることが出来なかった。
D	目標達成には至らなかった。	期待した取組成果を得ることが出来なかった。

### 【自己評価】

【 B 】

意 見 ・ 感 想 等
令和5年度の目標は計画通り達成することができた。学校の状況により協議会や研修会の開催状況は異なるが、地域と学校の連携がより深まりを見せている学校区もある。学校と地域の参画意識の向上と両者の関係作り、より深まりのある協議会にしていくことの三つが今後の課題である。

### 【評価者評価】

【 B 】

評 価 者 意 見 ・ 指 摘 事 項 等
会議の開催回数の妥当性、事業実施、活動状況、事前研修の成果に加えて関係者同士の連携構築がより高い成果へと繋がったと考える。今後は保護者への周知方法や、小中学校再編への移行を見越した計画を検討してほしい。

## 令和6年度教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事務事業対象)

事務事業名	図書館の運営					
総合計画	政策名	将来を担う人の育成と活力あるコミュニティの形成	担当課	生涯学習課	担当	生涯学習担当
	施策名	生涯学習環境の充実	事業費	13,227千円		
事業期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日					
関係法令・条例等	社会教育法、図書館法、塩谷町図書館設置管理条例					
事業の目的	子どもから大人まで読書を通じて生涯学習を深められる場を目指し、町民の方の読書要求に応える図書資料及び各種サービスを提供することにより、多くの利用者が図書館を活用し、身に付けた知識等を地域や社会に活かせる学習機会の場とする。					
令和5年度の取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料貸出開覧 所蔵冊数約35,704冊(受入冊数1,445冊、除籍冊数1,794冊)、年間総貸出冊数24,948冊(うち相互貸借による貸出数353冊)、利用登録者数1,049人、来館者数9,049人</li> <li>・企画・広報事業 図書館見学受入れ(小学校3校)、お話し会</li> <li>・図書館まつり 図書館を知ってもらい、足を運ぶきっかけ作りとしてミニゲームや絵本づくり、キッチンカー出店を実施(5/7)</li> <li>・小中学校の司書担当の先生との連携強化を目的とした研修を行い、小中学校での電子図書利用を依頼した。</li> <li>・弁償基準を作成し、利用者により一定の基準を示した。</li> </ul>					
事業取り組みの成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年5月より脱コロナとなり、図書館では大小様々なイベントを開催して少しずつ利用者も戻りつつある。</li> <li>・電子図書館の利用については、小中学校の図書担当の先生と電子図書の研修を行ったところ、読書の時間等での利用が少しずつ増えてきている。</li> <li>・弁償基準を示したことで、町民の方にも本を大切にいただく意識を持ってもらえたか、弁償件数は若干減少した。</li> </ul>					
事業実施における課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館及び電子図書館の利用者については、利用者を増やすために周知方法や人の集まるイベントの開催などについて更なる検討を行う必要がある。また、図書館は物理的に蔵書数を増やすことが困難になってきており、選書の重要性が増している。他にも、貸し出した本を返却しない利用者への督促などの課題がある。</li> </ul>					
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町図書館の更なる利用者増につなげるため、蔵書整理等を進めるとともに、これまでのイベント内容や周知方法について検討を進める。</li> <li>・電子図書館については、小中学校への働きかけを一層進めるとともに他団体への周知を検討する。</li> <li>・選書についても利用者のニーズ把握に努め、より良い図書の購入を目指す。</li> <li>・弁償基準を作成したものの、今後も延滞者に対する督促を強めていく。</li> </ul>					

### 【評価】

A	計画以上に目標を達成した。	十分に成果を得ることが出来た。
B	計画どおりに目標を達成した。	予定した成果を得ることが出来た。
C	目標達成にはやや至らなかった。	予定した取組成果を得ることが出来なかった。
D	目標達成には至らなかった。	期待した取組成果を得ることが出来なかった。

### 【自己評価】

【 B 】

意 見	・	感 想	等
図書館については、ほぼ通常の営業ができたと判断する。また、図書弁償基準を作成し、利用者の方にどこからが弁償となるかの基準を示すことができた。電子図書館も町内小中学校の協力を得て、少しずつ学校での利用が増えてきており今後の利用増につながることを期待できるようになった。			

### 【評価者評価】

【 B 】

評 価 者 意 見	・	指 摘 事 項	等
イベント等で図書利用を促進することは評価できる。学力と関係するところなので、今後も読書意欲、意識の高揚に取り組んでほしい。ただ、調べる、学ぶ方法が変わってきているので、費用の面については見直す必要があるのでは。			

令和6年度教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事務事業対象)

事務事業名	生涯学習フェスティバル					
総合計画	政策名	将来を担う人の育成と活力あるコミュニティの形成	担当課	生涯学習課	担当	生涯学習担当
	施策名	芸術・文化活動の推進	事業費	128千円		
事業期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日					
関係法令・条例等	社会教育法					
事業の目的	住民参加型のフェスティバルとして開催しており、作品展示及び体験活動及び文化協会との連携により、住民による文化振興への関心を高めたり、まなびの成果の発表の場を提供する。					
令和5年度の取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習フェスティバルの開催(10/29の1日開催)</li> <li>・町内各サークル(短歌部、華道部、絵手紙部、写真部)、小中学生及び一般町民による作品展示、体験学習コーナー及び出店等</li> <li>・キッチンカー等6台による飲食提供</li> </ul>					
事業取り組みの成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品出展数 892点(前年898)</li> <li>・邦楽祭出演目数 なし(前年なし)</li> <li>・入場者延べ人数 410人(前年360人)</li> </ul> ※体験コーナーは、各種団体のPRの場として有効であり、また宇都宮大学農学部附属演習林や塩谷消防署の協力による体験コーナーも人気があった。					
事業実施における課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来場者へのアンケートを実施しているが、来場者からは概ね好評である。しかし、玉生コミュニティまつりと同日になってしまい利用者も大変だった様子である。今年も宇大演習林や消防署などの協力をいただいたが、さらに目新しいコーナーなども検討する必要がある。</li> <li>・今後も情報提供やPR等周知をすとも作品等の出品を増やしたり内容の検討を図っていく必要がある。</li> </ul>					
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな出品者や参加者を集めるため、早期からの周知を行うなどの対応を進める。</li> <li>・文化協会や各種サークル団体等との更なる連携を図りながら、新規団体の掘り起こしを行う。</li> <li>・飲食物の催事出店の募集も再開し、活動のPR、成果発表、地域力向上の場としたい。</li> </ul>					

【評価】

A	計画以上に目標を達成した。	十分に成果を得ることが出来た。
B	計画どおりに目標を達成した。	予定した成果を得ることが出来た。
C	目標達成にはやや至らなかった。	予定した取組成果を得ることが出来なかった。
D	目標達成には至らなかった。	期待した取組成果を得ることが出来なかった。

【自己評価】

【 C 】

意見・感想等
今年度は諸事情により1日開催となり、前年度と比較して作品数等も若干減ったが来場者は増えた。町民の方の学びに対する意識は以前のように戻りつつあると感じたことから、一定以上の効果は得られたと考える。

【評価者評価】

【 C 】

評価者意見・指摘事項等
今後の課題や方向性についてはよく考えられているが、作品の出展数にこだわらなくてもよいのではないかと、また、展示場所に新庁舎を活用してみたり、優秀な作品等は広報で紹介してみてもどうか。

## 令和6年度教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事務事業対象)

事務事業名	スポーツ・レクリエーションの普及推進事業					
総合計画	政策名	将来を担う人の育成と活力あるコミュニティの形成	担当課	生涯学習課	担当	スポーツ振興担当
	施策名	スポーツ・レクリエーションの普及推進	事業費	52,097千円		
事業期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日					
関係法令・条例等	体育施設設置及び管理条例、都市公園条例、各種大会実施要項等					
事業の目的	体育施設の貸出しやスポーツ大会をとおり、スポーツ・レクリエーションの普及、町民の交流、健康増進を図り、元気で健康な連帯感あふれるまちづくりをする。					
令和5年度の取り組み状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) スポーツ大会等の実施(スポーツフェスタ、ウォーキング大会、水泳教室、なわとび大会、スポーツ推進委員自主企画)</li> <li>2) 各種スポーツ団体の支援(町スポーツ協会3,063千円、スポーツ少年団120千円へ補助金)</li> <li>3) 関東・全国大会出場者への激励金支給</li> <li>4) 体育施設等の維持管理</li> </ol>					
事業取り組みの成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) スポーツフェスタ夏季大会を5種目開催(前年1種目)。2回目となる町主催のウォーキング大会を開催し348名の応募があった。</li> <li>2) 町スポーツ協会では、各競技団体が自立した大会や教室を開催している。</li> <li>3) 該当者延べ個人8名、団体3組へ合計135千円を支給</li> <li>4) 総合公園多目的広場トイレ改修工事21,477千円</li> </ol>					
事業実施における課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 新型コロナウイルス収束後のスポーツ大会・教室の開催。</li> <li>2) 各競技団体とも会員数が減少傾向にある。</li> <li>3) 施設の老朽化が進んでおり、維持管理費が嵩んでいる。</li> </ol>					
今後の方向性	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 町主催のウォーキング大会を開催し、多くの町民の参加者を図る。</li> <li>2) 誰もが手軽に始められるウォーキングを推進し、一人一スポーツの普及を図る。</li> <li>3) 利用者の安全を第一に営繕していくが、大規模な修繕となると公共施設総合管理計画において検討していく必要がある。</li> </ol>					

### 【評価】

A	計画以上に目標を達成した。	十分に成果を得ることが出来た。
B	計画どおりに目標を達成した。	予定した成果を得ることが出来た。
C	目標達成にはやや至らなかった。	予定した取組成果を得ることが出来なかった。
D	目標達成には至らなかった。	期待した取組成果を得ることが出来なかった。

### 【自己評価】

【 B 】

意 見 ・ 感 想 等
各スポーツのイベントを再開しているが、コロナ蔓延以前のように参加者が集まらない状況である。そのような中で、2回目の開催となった湧く湧くおやウォーキング大会の応募者が348名と、前回大会より約80名の増となったことは、一定以上の成果を上げられたと判断する。

### 【評価者評価】

【 B 】

評 価 者 意 見 、 指 摘 事 項 等
ウォーキングのように特色を打ち出して大盛況なことは評価できる。児童・生徒のスポーツに関する選択肢の減少への対応は要検討。水泳教室は人気があり、水難防止事故にも活かせる水泳は、児童全員を対象にしてもよいのでは。また、高齢者や真夏の運動場所の提供としてプールの整備も検討してはどうか。

## IV 総合評価

### 1 教育委員会議の開催及び教育委員の活動状況について

教育委員会議の開催状況については、開催回数は十分であり、慎重な審議が行われていることが分かり、充実した活動が行えていると評価できます。

今後は各小中学校の学習習熟度等を分析し、教育方針会議に繋げていただきたいと考えています。

教育委員会以外の活動に関しましても、多くの行事に参加をしており、評価ができる活動だと思うが、行事数が多いので分担して参加してみたいかでしょうか。

評価するにあたり、具体的な内容の報告を全体的にいただきたいと思います。

### 2 教育に関する事務事業の執行状況について

学校教育課、生涯学習課いずれの所轄事業とも、第6次塩谷町振興基本計画（前期基本計画）及び第4次塩谷町生涯学習振興計画（兼第1次塩谷町男女共同参画振興計画）に基づき、適正かつ着実に事務事業執行が行われていることが評価できます。

町をあげてウォーキングの推進は、すでに定着しつつあり非常に評価できます。

今後も教育の選択肢を確保しつつ、塩谷町ならではの特色ある教育や体験活動を進めていただきたいと思います。

また、人材の育成のために、限られた予算の中で最大限の効果が出せるよう、バランスを考えて、安心安全な教育環境の整備を並びに少子高齢化に即した活動を推進していただけるようお願いいたします。

以上、総合評価とします。

令和6年度（令和5年度事業対象）塩谷町教育委員会点検・評価報告書

問合せ先

発行 栃木県塩谷町教育委員会

〒329-2441 栃木県塩谷郡塩谷町大字玉生 955-3

T E L 0287-48-7501 F A X 0287-48-7502

E - m a i l gakkou@town.shioya.tochigi.jp